

# 迷惑メール対策の取組み状況

---

平成22年10月21日  
KDDI株式会社

- 迷惑メールの送信元は、公知のデータでは海外発が多数を占めているとなっているが、実際には依然として**国内発の迷惑メールは相当数存在**※している。また、迷惑メール全体の量は引き続き増加傾向であり、数年で倍に増えるという状況が続いている。

- 国内発の迷惑メール（ほとんどが日本語の迷惑メール）

- ✓ ISP/ASPと固定IPの契約を行い払い出された固定IPから送信
- ✓ OP25B（Outbound Port25 Blocking）を未実施もしくは実施は公表しているにも関わらず不完全な実施をしているISPの動的IPから送信
- ✓ 上記他に、共用ホスティングやISP/ASPのメールサーバを踏み台、メール配信サービスを利用しての送信など、様々な手法で送信
- ✓ SMS（Cメール）は、迷惑メールはほとんどない。

- 海外発の迷惑メール

- ✓ （日本語・英語等問わず）Botを利用して世界中の至る国からメールを送信
- ✓ 日本語の迷惑メールを、主にアジアを中心に送信拠点を構築して送信

※:セキュリティベンダであるSophos社(<http://www.sophos.co.jp/>)のスパム送信ワーストランキングの調査結果においても、2008年2Qでは33位(0.30%)であったが、2010年2Qには30位(0.77%)となっており、増加傾向を示している。

### ■ これまで実施してきたau発の迷惑メールに対する主な対策

- 日当り/月当りのメール送信通数を制限
- 迷惑メール申告アドレス“au-meiwaku@kddi.com”、Web申告先、電話等の申告先の提供
- インターネット接続サービスであるau.netにおいて、OP25Bの実施

### ■ これまで実施してきたau宛の迷惑メールに対する主な対策

- メールフィルタ機能の提供
- メールヘッダ閲覧機能の提供
  - ➔ メール転送機能により、迷惑メールの申告機能の提供

【参考】auにおける迷惑メール対策の取り組み

<http://www.au.kddi.com/notice/meiwaku/torikumi/index.html>

### ■ 今後予定している対策

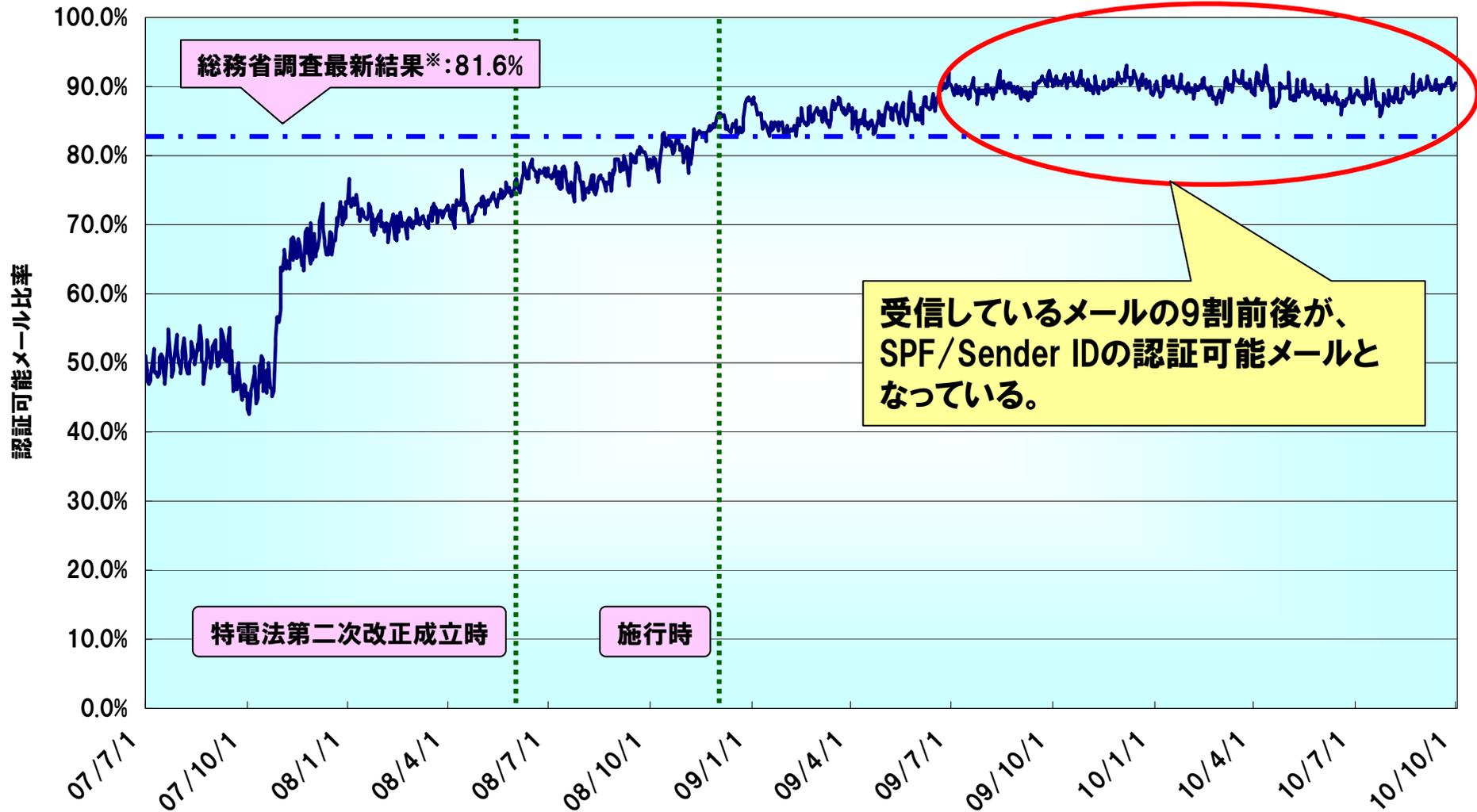
- 2010年12月にフィルタの機能強化を実施予定※
  
- 主な強化内容は以下の通り
  - ✓ Sender IDのPRA (ヘッダFrom) 認証フィルタの提供
  - ✓ KDDIおすすめ設定によるカンタンフィルタ登録機能の提供
  - ✓ なりすましフィルタに携帯なりすましとPCなりすましを統合
  - ✓ 指定許可リスト、指定受信リストを200件に拡張

※: [http://www.kddi.com/corporate/news\\_release/2010/0921a/index.html](http://www.kddi.com/corporate/news_release/2010/0921a/index.html)

## auにおけるメールフィルタ機能一覧（2010年12月から）

カテゴリ	機能名称		概要
カンタン設定	「携帯」「PHS」「PC」メールを受信	KDDI推奨	送信元が認証出来ないメールは受信しない。 (SPF/Sender IDをPassしたメールのみを受信)
	「携帯」「PHS」メールを受信		携帯、PHSから送信されたメールのみ受信 (携帯なりすましは拒否)
詳細設定	一括指定受信		携帯各社、PHS、インターネットそれぞれを一括で指定許可登録をする
	なりすまし規制	高(推奨)	送信元が認証出来ないメールは受信しない。
		標準	携帯なりすまし及びSPF/Sender IDで認証失敗したメールは受信しない
		低	携帯なりすましメールは受信しない
	指定受信リスト設定 (なりすまし・転送メール許可)		なりすましメール拒否で拒否されるメールを受信したい場合に設定する許可リスト
	指定受信リスト設定		特定のメールアドレスやドメインからのメールを受信したい場合に設定する許可リスト(なりすまされたメールは拒否)
	指定拒否リスト設定		特定のメールアドレスやドメインからのメールを拒否したい場合に設定する拒否リスト受信したいメールを設定する許
	HTMLメール規制		携帯、PHS以外から送信されるHTML形式のメールを拒否
URLリンク規制		URLが含まれているメールを拒否	
その他	ワンタッチ拒否登録		受信したメールアドレスに含まれる、メールアドレスから簡易に指定拒否リストに登録する機能。登録は、アドレスかドメインの何れかを選択可能

## 【参考】SPF / SenderID認証可能メール比率



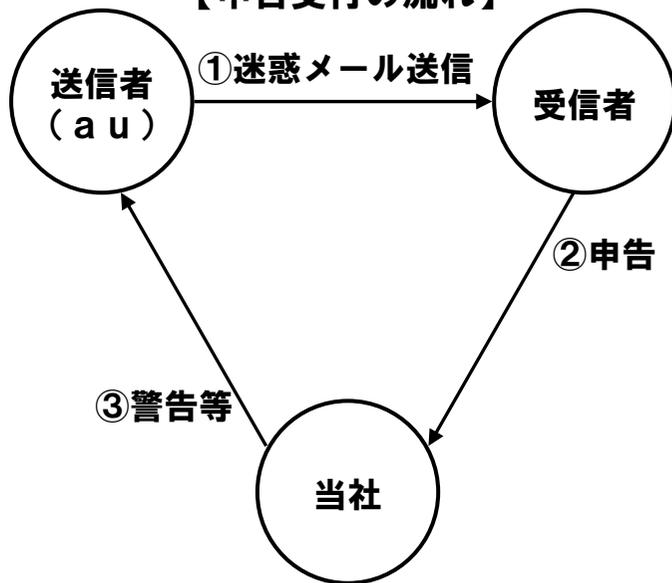
【送信ドメイン認証結果の集計 (SPF)】: [http://www.soumu.go.jp/main\\_sosiki/joho\\_tsusin/d\\_syohi/m\\_mail.html](http://www.soumu.go.jp/main_sosiki/joho_tsusin/d_syohi/m_mail.html)

- Smart Phoneで使うメールは、各ISP/ASP等が提供しているメールサービスを利用する場合と、auが提供しているメールを使う二つのケースがある。
  - 各ISP/ASP等が提供するメールサービス利用については、各サービスの提供先での対応に依存すると考えている。
  - **auが提供するメール（\*\*\*\*\*@ezweb.ne.jp）**については、フィーチャーフォンで提供しているメールサービスと同じ仕様となっており、メールフィルタ等の迷惑メール対策は同じ物が利用可能となっている。  
（一部機能の登録方法に差異はあるが、今年12月のフィルタ機能強化時に統一予定。）
  - SMS（Cメール）は、一部機種は受信のみ可。

## 利用者対応(申告窓口の設置)

- 迷惑メール専用の申告窓口を設置し、au携帯電話から送信された迷惑メールに関する申告を受付。
- 迷惑メールを送信するauユーザには厳正な措置（警告、利用停止）を実施。

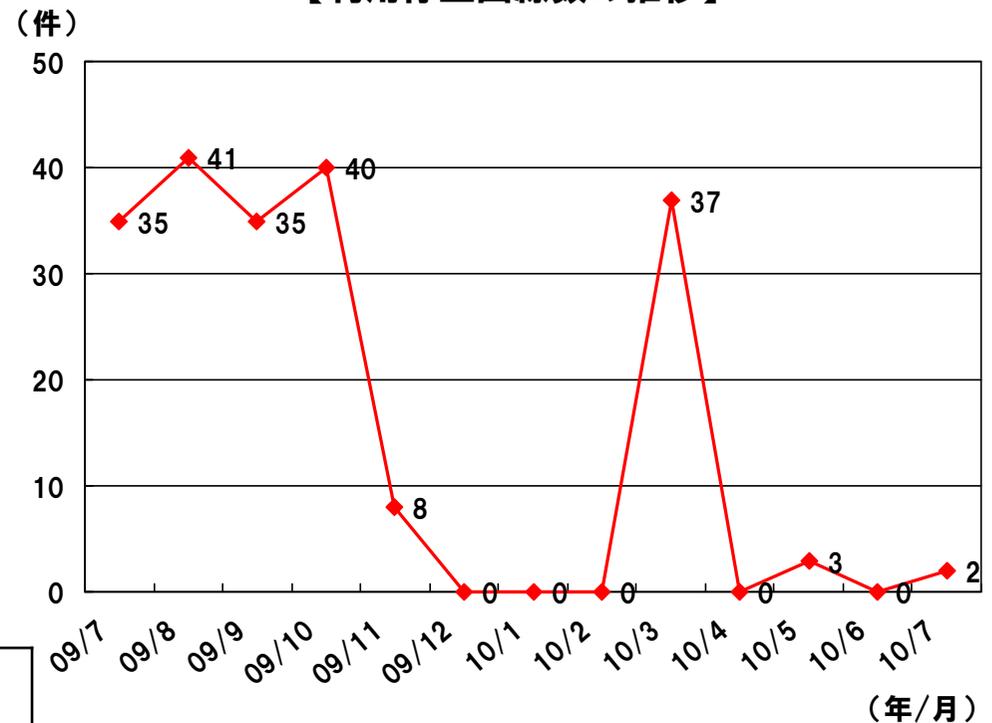
【申告受付の流れ】



【申告方法等】

申告対象	au携帯電話から送信された迷惑メール (間違いメールや誹謗中傷メールは対象外。)
申告方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 迷惑Eメールについてはau-meiwaku@kddi.comに転送。</li> <li>• 迷惑Cメール(SMS)については電話(0077-7089)又はウェブ(<a href="https://pcauth.kddi.com/sitan/cmail">https://pcauth.kddi.com/sitan/cmail</a>)により申告。</li> </ul>

【利用停止回線数の推移】





## 業界の取組み(迷惑メール送信に係る契約者情報交換)

- 迷惑メール送信行為によりある事業者から利用停止措置を受けた契約者が他の事業者に参加して迷惑メール送信行為を継続する問題（所謂「渡り」）への対策として、迷惑メール送信行為により利用停止になっている契約者の情報を事業者間で交換すること（以下、「情報交換」という。）について検討するため、平成15年10月、(社)電気通信事業者協会（TCA）に「迷惑メール送信者情報交換連絡部会」が設置された。
- その後、以下の経緯を経て情報交換制度が創設され、平成18年3月、携帯電話・PHS事業者間の情報交換を開始した。

### ➤ 経緯概要

平成16年10月 ～平成17年7月	情報交換の実施案が「電気通信事業分野におけるプライバシー情報に関する懇談会」に付議され、プライバシー保護の観点から、情報交換の条件等について整理。
平成17年10月	上記懇談会における整理に沿って、「電気通信事業における個人情報保護に関するガイドライン」が改訂され、情報交換が可能となったことを受け、TCAにおいて、携帯電話・PHS事業者間の情報交換の実施について報道発表。また、情報交換の実施について、携帯電話・PHS事業者の請求書同封物等を通じてユーザーへの周知を開始。
平成18年3月	関係事業者間の情報交換を開始。

### ➤ 情報交換の実施状況

#### ✓情報交換実施事業者

NTTドコモ、ソフトバンクモバイル、ウォルト・ディズニー・ジャパン、ウィルコム、ウィルコム沖縄、イー・モバイル、インフォニックス、KDDI、沖縄セルラー電話

#### ✓交換する情報の内容

迷惑メール送信行為により携帯電話・PHSの利用停止になっている契約者に関する次の情報

- |          |                           |            |              |
|----------|---------------------------|------------|--------------|
| ①契約者名    | ②生年月日（個人の場合）              | ③性別（個人の場合） | ④住所（郵便番号を含む） |
| ⑤連絡先電話番号 | ⑥利用停止前の携帯電話番号又はPHS電話番号、など |            |              |

【参考】TCAホームページ「迷惑メール送信者の情報交換」 <http://www.tca.or.jp/mobile/spam-mail.html>

- **NTTドコモ、ソフトバンクモバイル、イー・モバイル、KDDI及び沖縄セルラー電話の5社は、現在各社で提供している3G携帯電話におけるSMSの事業者間接続の実現に向けた検討を進めていく上での基本事項に関して昨年9月に合意した。**
- **TCA「迷惑メール送信者情報交換連絡部会」において、前記のSMS相互接続後の迷惑メール(SMS)対策について電気通信事業法その他の法令との関係を踏まえつつ検討中。**